

# 構造関数モデルを用いた二次元乱流噴流のLES

信州大学工学部 吉田尚史, 土屋俊樹, 井上稔大

目的 構造関数モデルを用いたLarge Eddy Simulation (LES) で二次元乱流噴流の発達を調べる。

内容 レイノルズ数2000, 6000, 10000の二次元乱流噴流をLESで計算し実験値と比較し解析する。

結果 構造関数モデルは数値的に安定で, 時間平均速度や乱れ強さは実験値と一致する結果が得られた。

利用した計算機	SX-ACE
ノード時間	5000時間
使用メモリ	40GB
ベクトル化率	98%
並列化	ノード内自動並列

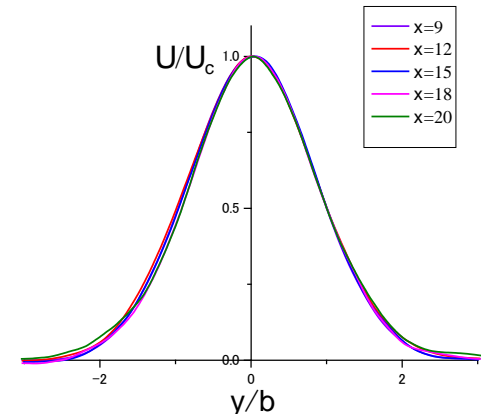


図 噴流の平均速度分布